

# 会 議 録

## 1 会議名

- ・令和4年度第7回清里区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

### 1) 協議事項（公開）

- ・自主的審議事項について

### 2) その他（公開）

- ・新市建設計画について

## 3 開催日時

- ・令和4年9月15日（木）午後3時から午後3時45分まで

## 4 開催場所

- ・清里区総合事務所 第3会議室

## 5 傍聴人の数

—

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

- ・委員：古澤文夫（会長）、山川正平（副会長）、佐々木勝峰、竹田恵理子、保坂幸男、堀川敏子、松永誠一、向橋マチ子
- ・事務局：清里区総合事務所：佐藤所長、浅野次長、西山市民生活・福祉グループ長（併教育・文化グループ長）、竹下班長、田村主査

## 8 発言の内容（要旨）

### 【浅野次長】

- ・会議の開会を宣言
- ・桑原正史委員、笹川重作委員、羽深正委員、横山芳一委員の欠席を報告
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告する。

### 【古澤文夫会長】

- ・挨拶

### 【佐藤所長】

・挨拶

**【古澤文夫会長】**

会議録の確認を佐々木勝峰委員に願います。

次第4「自主的審議事項」に入る前に、前回の地域協議会で「(仮称)地域独自の予算の概要(案)」の説明の時に、団体間の平等性について意見があったので、事務局から改めて説明をお願いします。

**【浅野次長】**

前回の地域協議会で、自主的審議をして市に意見書を出すことで、地域独自の予算を使える団体があるのであれば、これまで地域振興の活動をしている他の団体と比べ、不公平ではないかとの意見があった。

9月7日(水)に、令和元年度以降の地域活動支援事業の採択団体で、令和5年度以降、補助金による支援が得られないことで、活動に影響がある団体に対して、「(仮称)地域独自の予算(案)」についての説明を行い、活用を希望する団体は、事務局に相談してほしいと伝えた。

**【古澤文夫会長】**

事務局からの説明について、質問等あるか。

(質問等なし)

**【古澤文夫会長】**

では、「自主的審議事項」に入る。

前回の協議会で、「坊ヶ池周辺の活性化の取組」について、委員の皆さんからそれぞれ課題や解決策等について意見を発表してもらったが、事務局で整理したものが資料1の意見書(案)である。

内容について、意見等はないか。

**【山川正平副会長】**

坊ヶ池が清里区のシンボルであることや住民の思い、上越市が山荘京ヶ岳を休館してから、地域住民がビュー京ヶ岳の運営継続に向けて努力をしてきたことが書かれており、内容としてよいと思う。

**【佐々木勝峰委員】**

ビュー京ヶ岳が清里区になくてはならないものであるなら、どこまで支援できるのか、どこまで支援しなければ運営が継続できなくなるのか、というところもあった方がよい。

また、ビュー京ヶ岳と上越清里星のふるさと館が今後どのようにコラボしていくのか、ということについて話し合っていて取り組まないといけないし、協議会でもその辺りを明確にして、強く打ち出していく必要があると思う。

**【竹田恵理子委員】**

この内容でよいと思う。

**【保坂幸男委員】**

山荘京ヶ岳、ビュー京ヶ岳と表記しているが違う施設なのか。

ビュー京ヶ岳カフェの運営に影響する施設維持管理費の負担軽減となっているが、地域活動支援事業では約200万円の支援をしており、そこに係る経費の中の電気代とかを市として持つてほしいという意味であれば、他と同じように経費の支援という形の方がよいと思う。

**【古澤文夫会長】**

山荘京ヶ岳とビュー京ヶ岳の話だが、条例上はまだ山荘京ヶ岳となっているのか。

市が山荘京ヶ岳を休館とした段階で、清里まちづくり振興会が名称を変えたと思う。

その辺り、事務局の方で説明できるか。

**【浅野次長】**

条例上は山荘京ヶ岳の名称のままである。

山荘京ヶ岳が温浴施設という意味合いが強かったこともあり、清里まちづくり振興会がビュー京ヶ岳という名称に変えて運営を引き継ぎ、その後、運営を引き継いだ（一社）櫛池農業振興会もビュー京ヶ岳カフェという名称で活用しているので、整理する。

**【古澤文夫会長】**

市へ提出する意見書なので、ビュー京ヶ岳という名称でよいのか確認してほしい。

また、ビュー京ヶ岳カフェの運営に影響する施設維持管理経費の負担軽減とするか支援とするかも検討してほしい。

**【向橋マチ子委員】**

この内容でよいと思う。

**【松永誠一委員】**

3つの事業主体だったと思うが、その関連性をうまくまとめていると思う。坊ヶ池周辺の活性化の取組という事業になるかと思うが、これまでは（一社）櫛池農業振興会ときよさと観光交流協会、天文指導協力員会の3団体だったが、事業主体はどういう形に

なるのかを明らかにしなくてよいのか。

**【古澤文夫会長】**

地域活動支援事業では団体ごとへの補助金であったが、地域独自の予算になるとどうなるのか。

**【佐藤所長】**

団体の皆さんとの意見交換の際も3団体の連携という話を委員からいただいております、事業をアピールするためには一体的なものとして提案していった方がよいし、そのためには、実行する団体の皆さんがどう考えていくかが大切だと思うので、改めて団体の皆さんと話をしていく中で詰めていくことだと考えている。

この意見書で不足していることは、連携して活動していくという部分だと思うので、その辺をどうするのかということである。今年度、きよさと観光交流協会が坊ヶ池周辺の植物や動物などのデータを収集しており、公民館事業の野鳥観察や植物観察ではビュー一京ヶ岳を拠点として活動している。さらに上越清里星のふるさと館では子どもや大人に対する観望会などをしており、社会教育全般ができる地域ということでもとめられないかと事務所では考えている。

観光振興という目的でお客さんに来てほしいというのはあると思うが、では何を目的にといた時に一つ教育、社会教育、生涯教育をポイントとして集客することができれば、3つの団体をまとめていけるのではないかと考えており、そのような提案を団体の皆さんにできればよいと思っている。

**【古澤文夫会長】**

松永委員、よろしいか。

**【松永誠一委員】**

具体的にその辺を連携していくとなると合意形成も必要となってくるが、それはこれからということではよいのか。

**【佐藤所長】**

松永委員がおっしゃっていたのは、事業主体は誰になるかということだと思うが、3つの団体をすぐにまとめてできるかというとなかなか難しいので、まずは連絡会など緩やかな関係でそれぞれの活動を続け、その中で一緒に広報をしたり、人材をやり取りするようなことができれば良いと思っているが、それは団体の皆さんがどう考えるかだと思うのでそのような話を団体の皆さんにできればと考えている。

**【堀川敏子委員】**

坊ヶ池周辺の活性化の取組を今後どのようにしていくのかが大変だと思っている。

週末にビュー京ヶ岳カフェに行った時に、糸魚川から上越清里星のふるさと館へ来た親子に会った。上越清里星のふるさと館に行って昼食をここでとったという話を聞いて、まさにこれこそが坊ヶ池周辺の活性化の具体的な形だと思った。

先ほど連携という話が出たが、上越清里星のふるさと館の近くにビュー京ヶ岳カフェがあるので、お昼はそこでといったようなチラシを作るとか、活性化に向けた相互の連携が必要だと思うが、誰が主導権を持って横の繋がりを作っていくのか分からないので不安である。その辺りがはっきり分かるように取り組んでいただければと思っている。

**【古澤文夫会長】**

総体的には、意見書の内容について皆さんこれで良いと考えていると思う。

意見書の最後に市に望むことが3つ書いてあり、特に3つ目の坊ヶ池周辺の集客につながる取組への支援に全てが網羅されていると思う。取組の内容については、今後話し合っていないといけないが、まず令和5年度も団体が引き続き活動できることが先決だと思う。

今日皆さんからいただいた意見を事務局でまとめ、次回の地域協議会で意見書の最終案をまとめるということでよいか。

(委員了承)

**【古澤文夫会長】**

次に、次第5「その他」であるが、次回の令和4年度第8回清里区地域協議会の開催について、10月13日(木)午後3時からこの会場で開催したいと思うが皆さんよろしいか。

(委員了承)

**【古澤会長】**

そのほか、何かあるか。

**【浅野次長】**

・住民票の写し等の第三者交付に係る本人通知制度について説明する。

**【古澤文夫会長】**

以上をもって、第7回地域協議会を終了する。

最後に山川副会長から、閉会の挨拶をお願いします。

【山川正平副会長】

- ・閉会の挨拶

9 問合せ先

- ・清里区総合事務所 総務・地域振興グループ TEL025-528-3111(内線225)

E-mail : [kiyosato-ku@city.joetsu.lg.jp](mailto:kiyosato-ku@city.joetsu.lg.jp)

10 その他

- ・別添の会議資料も併せてご覧ください。